第18講　敬語の種類・敬語の補助動詞

PART1　種類・本動詞／補助動詞の違い・補助動詞

★敬語の種類＝「　　」語・「　　」語・「　　」語

★本動詞と補助動詞

○**補助動詞**の型

①「　　」＋**V**　（例）書き**奉る**

※形容詞・形容動詞＋**V**のVは、「あり」の意味の動詞

※用言＋助動詞＋**V**もある。

（例）書かせ**給ふ**

②「　　」＋「　　」＋**V**　（例）書きて**侍り**

③「　　」＋「（　　）」＋

> 「　　」の意味の動詞
> **おはす**
> **おはします**
> **侍り**
> **候ふ**

（例）女房に（て）**候ふ**

★それぞれの種類の補助動詞と訳

○　＝

給ふ（　　） おはす おはします

（訳）「～　」・「～　」

○　＝

奉る 申す 聞こゆ 参らす 給ふ（　　）

（訳）「（お）～（し）　」・「～　」

○　＝

侍り 候ふ

（訳）「～　」・「～　」・「～　」

問七　「心地し①はべるに、…」「〜いかに見②たてまつり③たまはん」の傍線部①〜③の敬語の種類を、それぞれ次の中から選べ。

a　尊敬語
b　謙譲語
c　丁寧語

①＝

②＝

③＝

〈Memo〉

第18講　PART1　確認問題

① a・bの敬語の種類の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

おのれは水の尾の帝のおりおはします[a]年の正月のもちの日生まれて侍れば、十三代にあひ奉り[b]て侍るなり。

ア　aは尊敬語、bは丁寧語である。
イ　aは謙譲語、bは丁寧語である。
ウ　aは丁寧語、bは尊敬語である。
エ　aは尊敬語、bは謙譲語である。

② 傍線部a・bの説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

昔、二条の后の、まだ春宮（とうぐう）の御息所（みやすんどころ）と（人々が）申し[a]ける時、氏神にまうで給ひ[b]けるに、…

ア　aは尊敬の本動詞、bは謙譲の補助動詞である。
イ　aは謙譲の本動詞、bは尊敬の補助動詞である。
ウ　aは謙譲の補助動詞、bは尊敬の本動詞である。
エ　aは丁寧の補助動詞、bは謙譲の本動詞である。

③　a～eのうち、尊敬語の補助動詞はどれとどれか。その組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

翁（おきな）答へて申す、「かぐや姫を養ひ a たてまつること二十余年に成りぬ。かた時とのたまふにあやしく成り b 侍りぬ。また異（こと）所（どころ）に、かぐや姫と申す人ぞ c おはすらん。」と言ふ。「ここにおはするかぐや姫は、重き病をし d 給へば、え出で e おはしますまじ。」と申せば、…

ア　aとc　　イ　bとd　　ウ　cとe　　エ　dとe

④　傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

薩摩守（さつまのかみ）のたまひけるは、「年ごろ（和歌の道について）申し承って後、おろかならぬ御事に思いまゐらせ候へども、…」

ア　なみ一通りな事ではなく思い申し上げておりましたが
イ　なみ一通りな事ではなく思いなさっておりましたが
ウ　なみ一通りな事ではなく思って参上しましたが
エ　なみ一通りな事ではなく思って参上しなさったが

⑤　「かの例（ためし）思ひ出でられ侍りしに、…」の傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　謙譲の本動詞で、「お仕えする」と訳す。
イ　謙譲の補助動詞で、「（お）～（し）申し上げる」と訳す。
ウ　丁寧の本動詞で、「おります」と訳す。
エ　丁寧の補助動詞で、「～ます」と訳す。

第18講　PART1　解答

問七
① c
② b
③ a

第18講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① ａは用言「おり〔降り〕」の下で「おはします」なので尊敬の補助動詞。ｂは用言「あひ〔会ひ〕」の下で「奉り」なので謙譲の補助動詞。よって、エが正解。

② ａは本動詞で、「申す」は謙譲語。ｂは用言の下なので補助動詞。四段活用の「給ふ」であること、主語が高位の人物であることから尊敬語だと判断できる。よって、イが正解。

③ ａは謙譲の補助動詞。ｂは丁寧の補助動詞。ｃは尊敬語だが、「いらっしゃる」という意味の本動詞。ｄは用言の下で、「〜なさる」という意味の尊敬の補助動詞。ｅは用言の下で、「〜（て）いらっしゃる」という意味の尊敬の補助動詞。よって、エが正解。

④ 用言の下で「まゐらす」なので謙譲の補助動詞。「（お）〜（し）申し上げる」と訳す。「候へ」も用言の下なので丁寧の補助動詞。「〜です・〜ます」と訳す。よって、アが正解。

⑤ 「用言＋助動詞」の下で「侍り」なので丁寧の補助動詞。「〜です・〜ます」と訳す。よって、エが正解。

〔解答〕

①　エ　②　イ　③　エ　④　ア　⑤　エ